

From SORA

皆さま、ご無沙汰しております。B-GROOW（ビーグロウ）の空です。

本日は、ニュースレターvol.6をお届けいたします。

最近の私は「新型コロナウイルス」という猛獣から身を潜めて生活する日々を過ごしております。これまで、リアル重視・直接対面重視で仕事をしてまいりましたが、今回の件で、環境変化に適応できていない自分を痛感し、腹を括って弊社のビジネスを大転換させる決意をし、様々な取り組みを行っております。

具体的には、教育事業や顧客管理などにオンラインやAIを搭載したCRMを導入しました。インバウンドマーケティングのHubSpot導入やZoomによるWebミーティング実施、Zoomオンラインセミナーも実施中です。

現在、弊社オフィスは撮影スタジオのようです(笑)。

また、弊社スタッフたちの大奮闘を記録した

「B-GROOWチャンネル」

も今後立ち上げる予定です。

近いうちに直接またはオンラインいずれかの方法で皆様にお会いできる日を楽しみにしております。



空直美



■ 新型コロナウイルス感染症関連 助成金・給付金情報

新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業活動への影響に対し、公的機関や自治体等により、さまざまな支援が整備されています。要件の緩和等で変更内容が度々更新されている状況ですので、今回は5月31日時点での情報をご紹介します。

雇用調整助成金【特例措置拡大中】

経済上の理由により事業活動の縮小を余儀なくされた場合に、労働者に対して一時的に休業等を行い、雇用維持を図った事業主に対して、休業手当、賃金などの一部を助成する制度です。

緊急対応期間(4月1日～6月30日)については、5月19日以降、当初は提出が必要であった「休業等実施計画届」が提出不要となり手続きが簡素化されました。計画届の作成に苦戦し、申請を断念したという事業者の方にとっては朗報と言えるかもしれません。また、5月20日以降はオンライン申請も開始されました。

(ただいま稼働延期中です。)

小学校休業等対応助成金

小学校等が臨時休業した場合等に、子どもの保護者である労働者に対し、労働基準法上の年次有給休暇とは別に有給の休暇を取得させた事業主が助成の対象となります。申請期間は9月30日までとなっています。

持続化給付金

経済産業省は、感染症拡大により特に大きな影響を受けている事業者に対し、事業の継続を支え再起の糧となる給付金を支給しています。

5月1日より電子申請による受付が開始されました。電子申請をスムーズに行えるようサポートするために、5月12日より順次、全国各地に「申請サポート会場」が開設されています。

■ 法改正情報 (令和2年6月1日以降)

施行時期	改正内容
令和2年6月1日	・女性活躍推進法の一部改正 ・パワハラ防止対策の法制化 ・セクシュアルハラスメント等の防止対策の強化
令和2年8月1日	・雇用保険の被保険者期間の見直し
令和2年9月1日	・厚生年金保険の標準報酬月額の上限定

パワハラ防止対策の法制化

令和2年6月1日より、パワーハラスメント対策を明記した改正労働施策総合推進法が施行されます。事業主に対してパワーハラスメント防止のための雇用管理上の措置が義務づけられ、適切な対応が求められるようになります。(中小企業は令和4年3月31日までは努力義務)

■ 人材育成への提言

組織が継続して発展していくためには人材育成が必要不可欠です。社員がスキルアップし、さらに未経験業務に対応できる能力を身につけることにより、組織の次の時代を担う人材に成長していきます。自己開発・OFF-JT・OJTの3つの手法がありますが、今回は新入社員を育成していく際のポイントについてご紹介します。

職場内で行う人材育成

職場内で上司や先輩が新入社員に直接行う人材育成にOJT (On the Job Training)があります。個別にきめ細かい指導ができ、業務マニュアルでは解決できない問題への対処法の習得や、社内特有の事情など、新入社員に役立つ情報の伝達ができます。



継続的かつ有効な人材育成のために

社会人としての心構えや仕事のマナーなど、広く一般的な事柄の指導と定着は、入社時の『新入社員研修』や、入社半年後の『新入社員フォローアップ研修』などのOFF-JTで補うことをお勧めします。

また、入社から数か月経つと中堅社員は新入社員の立ち回りのために指導方法を見直すこともあるでしょう。その前に『中堅社員研修』などで、理論的・体系的な専門知識を学ぶことで、中堅社員自身の成長を促し、新入社員育成の成果にも大きく繋げていくことができます。このように、人材育成の手法を組み合わせることにより、継続的かつ有効な人材育成の実現が可能となるのです。

■ CUBIC 個人特性分析

- 人材の採用は通年採用に
- 適性を知るために
- 採否の後押しをしてくれる客観的指標

近年、ワークライフバランスの重視による価値観の変化で働き方が多様化し、同様に人材採用の手法も多岐に渡っています。現在は、新卒者採用を含めた通年採用が主流となっており、採用時には書類選考・筆記試験・面接等を行うことが一般的だと言えるでしょう。

採用の際に、ビジネスパーソンとして必要な能力や特性を備えているかどうかの判断材料として用いる「適性検査」について、こういったツールを選択すべきか、迷われる採用担当者の方も少なくないのではないでしょうか。

信頼性・有用性の高い適性検査に『CUBIC個人特性分析』があります。応募者を性格・個性面、興味・価値観、意欲・やる気、社会性の4つの側面から測定し、可能性と特性を複合的に評価する事ができます。

詳細はこちらから↓

<http://b-grow.com/cubic/>

■ 編集後記

今回は、新型コロナウイルス感染症関連の助成金・給付金情報について取り上げましたが、どの助成金を申請すればよいのかなどの判断には専門的な知識が必要不可欠です。弊社では、社会保険労務士が労務顧問としてご支援させていただいております。ぜひ一度ご相談ください。

また昨年8月より開催中のビーグロー・ビジネスカレッジも大変ご好評を頂いております。各方面の専門講師を招き、階層別やテーマ別、職種別の研修を取り揃えております。コロナ関連の影響もあり、社員教育に時間を割くことが難しい企業様は、この機会にぜひご活用いただければと思います。詳細は弊社までお問い合わせください。

株式会社 B-GROOW

Mail sora@b-grow.com

HP <http://www.b-grow.com/>

〒812-0013

福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-28博多偕成ビル9F

TEL 092-476-7300

FAX 092-476-7307